

編集顧問

阿部 弘
岩崎 喜信
大本 堯史
河瀬 斌
菊池 晴彦
桐野 高明
佐々木 富男
高倉 公朋
田中 隆一
西本 詮
橋本 信夫
早川 徹
堀 智勝
吉田 純
吉本 高志

編集委員

吉峰 俊樹
(編集委員長)
新井 一
岡田 芳和
片山 容一
斉藤 延人
高安 正和
伊達 勲
富永 悌二
寶金 清博
宮本 享
村山 雄一
吉田 一成
若林 俊彦
(五十音順)

本号の『扉』には、宮古島で診療されている竹井太先生の「離島からのラブコール」が掲載されている。宮古島での「地にまみれながら」の医療の魅力が伝わってくるし、竹井先生の座右の銘である「生きて生きて逝ききる」という言葉も含蓄がある。言わずもがなであるがどこでも高齢者が増えて、確かに「逝ききる」意味を考えるべきというのは言い得て妙だと思う。

宮嶋雅一先生の「髄液の産生と吸収の再考」も大変読み応えのある総説になっている。髄液の産生と吸収、循環に関して歴史的報告を逐一踏まえながら、現在の考え方への変遷がわかりやすく説明されている。脳室およびくも膜下腔と脳実質間の水や物質の交通が比較的自由であり、「髄液も組織間液も両者は連続して、細胞外液を構成している」ことは、脳腫瘍治療のための convection-enhanced delivery (CED) を行っていると確かに実感として納得できる。脳内血腫のように血腫溶解に時間がかかり、周囲の脳組織が破壊されている状況では血腫の吸収にそれなりの日数がかかる。しかし CED では、周囲脳組織を破壊せず細胞外腔に“対流を起こす”ように持続陽圧で薬液や造影剤を注入するため、水溶性薬剤は思いのほか速やかに脳内からクリアランスされる。脳は実質臓器であり、細胞外腔の bulk flow を意識する機会は少ないが、細胞外液はやはり髄液や組織間液と容易に通じていると思われる。宮嶋先生のご努力に感謝したい。

研究論文 2 編は、「変性すべり症を伴った腰部脊柱管狭窄症」と「80 歳以上の症候性内頸動脈狭窄症」についての減圧術あるいは内膜剥離術の治療成績を述べたものである。いずれも基幹病院における長期の手術結果を解析したもので、retrospective な研究であることや、症例数が限られるなどの制約はあるものの、自分たちの実臨床の結果を丹念に解析している。世界規模あるいは全国規模のスタディから導かれる evidence-based medicine も大切かもしれないが、まず自分たちの実践の結果を日本語であっても世に問い、「自分たち」の medicine-based evidence を得ることもまた重要である。そのような論文を掲載するのも本誌の役割であると思う。

他に稀少例や新たな診断法などを記載した興味ある症例報告が 5 編、シリーズ・連載の原稿が 2 編掲載されている。著者の先生方に感謝致します。

Neurological Surgery 脳神経外科

(第 42 巻第 12 号)

2014 年 12 月 10 日発行 (毎月 1 回 10 日発行)

定価：本体 2,600 円＋税

〔2014 年 年間購読料 (税込、送料弊社負担)〕
冊子版／通常 33,020 円、冊子版／個人特別割引 31,350 円、冊子＋
電子版／個人特別割引 36,350 円、冊子＋電子版／共有 43,000 円、
電子版／個人特別割引 31,350 円、電子版／共有 38,000 円
E-mail: noge@igaku-shoin.co.jp http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/noge/

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5701

(担当：松田・山崎)

販売部直通 (03) 3817-5659

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株)ハイブリッジエージェンシー

電話 (03) 3814-0089

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2014, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株)医学書院が保有します。
・ 本誌を無断で複製する行為 (複写、スキャン、デジタルデータ化など) は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療、研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ JCOPY (株)出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

* 「脳神経外科」 「NEUROLOGICAL SURGERY」は、株式会社医学書院の登録商標です。